

地域安全トピックス



西

西防犯協会では、特殊詐欺被害を防止するべく、『だまされないぞ!!袋』や『特殊詐欺にご用心箸』を作成、配布時を活用し、多様な詐欺手口を教示しているほか、怪しい電話はすぐに切断し警察へ通報して頂くよう呼びかけています。

西区内では、実際に特殊詐欺犯から電話があったご家庭や、被害に遭われた方に対して、再被害の可能性を考慮し当協会で購入した『防犯通話録音機』を西警察署員が無償で取付ける活動も実施しております。

地道な活動ですが、特殊詐欺被害撲滅を目指して今後も継続していきたいと思えます。

浪速

浪速防犯協会では、この度、3年ぶりとなる「浪速区安全・安心まちづくり大会」を開催しました。

本大会は、警察、役所、防犯協会、社会福祉協議会等が協力して準備に当たりますが、3年前の大会を経験している職員が少なく、何度も協議を重ねて準備を進めて行きました。

10月11日は、株式会社クボタ大ホールをお借りし、盛大に大会を開催し、区民の防犯意識の向上、安全・安心まちづくりへの意欲向上、そして何よりも、「公・官・民の一体感」を生み出すことが出来ました。

今後も、「安全・安心まち浪速区」の実現に向け、公官民一体となり、取り組んで参ります。



豊中南

豊中南防犯協議会は、警察と協力し、大阪音楽大学に特殊詐欺被害防止啓発動画の作成を依頼し、完成動画を春の地域安全運動期間中の4月20日からYouTubeで配信するなど、広い世代に特殊詐欺被害防止を呼びかけました。

また、秋の全国地域安全運動期間中の10月14日には、同大学オペラハウスにおいて、防犯支部長や地域住民など約200名が参加して「豊中南市民大会」を開催しました。

大会では、防犯功労者に対する表彰や、警察による防犯教室、音楽大学関係者による演奏会などを実施し、市民の防犯意識を高めました。



門真

門真市防犯協議会、門真特設防犯委員会、門真特別防犯委員会では、門真警察署と連携しながら、工夫を凝らした防犯活動を継続して行っており、創立45周年を迎えました。これまでに沢山の会員が、大阪・全国防犯協会連合会の防犯功労者などの表彰を受賞しています。

会員企業が持つデジタルサイネージでの広報や、店頭販売時に防犯委員会で制作したレジ袋を活用する等、それぞれの強みを生かして、地域に密着した啓発活動を行ってきました。市民の皆さんに「防犯」を身近に感じていただき、「安全で安心なまち門真」のため、これからも活動していきます。



和泉

防犯ボランティアガイドの作成

和泉市内には27もの青色防犯パトロール団体があります。これは大阪府下の市町村では最大の団体数(政令市を除く)を誇り、100台以上の車両が登録されています。このように和泉市内では日頃から活発な青色防犯パトロール活動を行っているため、ボランティアの皆さんから「パトロール中の着眼点などが知りたい、こんな時はどうしよう?」というような意見を何度か聞くことができました。そこで、和泉警察署や他の団体と協力し、防犯活動を行ううえでの留意点や見守り活動、青色防犯パトロール活動のポイント等をまとめた防犯ボランティアガイドを作成し、防犯ボランティア員の各自が携帯できるようストラップを付けて、4月26日青色防犯パトロール団体の代表者に配布しました。

